



READ Me



ネットワークから最新のソフトウェアをダウンロードできることは、インターネットの大きな魅力の1つです。このコーナー「READ Me」では、ネットワークから入手できる最新のソフトウェアに焦点をあてて、必ず役に立つ情報満載でお届けします。まずは今月の注目ソフトから。

HOTTEST TOOLS

今月の注目ソフト

best 5

HOTTEST TOOLS

TClock

Ver.2.2β



動作環境

OS : ウィンドウズ95/98、NT4.0

種別 : フリーソフトウェア

作者 : kazubon氏

CD-ROM収録先 : Win Tclock

関連ページ : <http://member.nifty.ne.jp/kazubon/download/tclock.htm>



TClockはタスクバーに表示される時計やスタートメニューのデザインを変更するソフトウェアだ。最新版のVer.2.2では、SNTPプロトコルを利用してNTPサーバーにアクセスし、パソコンに内蔵されている時計の時刻を定期的

的に自動で修正する機能が追加された。時刻合わせのタイミングは1日1回や指定時間ごと、ダイヤルアップ接続中のみなどが指定できる。NTPサーバーは通常、社内や学校内などにあるNTPサーバーを指定すればよいが、ダイヤルアップ接続など特にNTPサーバーが身近にない場合は「clock.nc.fukuoka-u.ac.jp」などの公開されているNTPサーバーを指定しよう。電子メールを利用する際にパソコンの内蔵時計が狂っているとメールを送った相手に迷惑をかけてしまうことがある。パ



ソコンの内蔵時計は精度が低く狂いやすいのでTClockのような自動修正ソフトを利用すると安心だろう。



HOTTEST TOOLS

AddrTool

Ver.0.1



動作環境

OS : ウィンドウズ95/98、NT4.0

種別 : フリーソフトウェア

作者 : 西村誠一氏

関連ページ : <http://www.asahi-net.or.jp/~tz2s-nsmr/>



AddrToolは現在使っているメールソフトのアドレス帳機能を強化するソフトウェアだ。数多くの人とメールをやりとりする場合、メールアドレスの管理は非常に重要だ。しかし、メールソフトによってはアドレス帳の機能が貧弱なものもある。AddrToolならば、友人や仕事、メーリングリストといったふうにメールアドレスをいくつかのグループに分けて管理する機能や、漢字の名前を正しく読みがな順に

ソートする機能、メールアドレスや名前の一部を入力するだけで簡単に正しいメールアドレスが検索できる強力な検索機能などを備えている。いままでのメールソフトでいつもどおりにアドレス帳を開くだけでAddr Toolが起動する

ので、面倒な操作は不要だ。なお、現在のところ対応しているメールソフトはアウトLOOKエクスプレスのみだが、今後はネットスケープメールやBecky! Internet Mail、Winbiffなどのメールソフトにも対応する予定となっている。



HOTTEST
TOOLS

iSpeed Ver.2.7.3



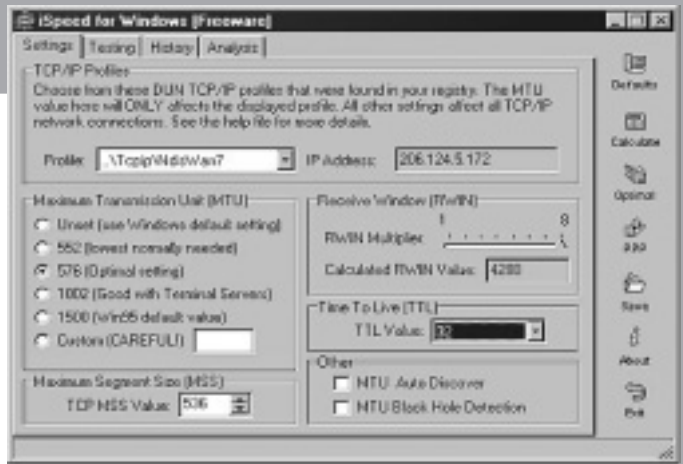
動作環境

OS : ウィンドウズ95/98、NT4.0
種別 : フリーソフトウェア
作者 : High Mountain Software
関連ページ : <http://www.hms.com/ispeed.htm>

Win

iSpeedは、TCP/IPのパケットサイズなどを変更してダイヤルアップ接続時のパフォーマンスを向上させるソフトウェアだ。設定を変更した後、実際にファイルをダウンロードしてみてどのくらい変化があるかを測定してグラフ化することができるので、パケットサイズ

が最適になるように何度も試行錯誤して設定するといいたろう。なお、LAN環境でこのiSpeedを利用するとネットワークのパフォーマンスが下がって遅くなってしまふ。LANを利用している環境ではこのソフトウェアは利用しないほうがいいだろう。また、このソフトウェアはウィンドウズのレジストリーを書き換えるため、万が一の時



のためにレジストリーをバックアップしてから利用するようにしよう。

HOTTEST
TOOLS

ブラウザーチェンジャー Ver.1.03



動作環境

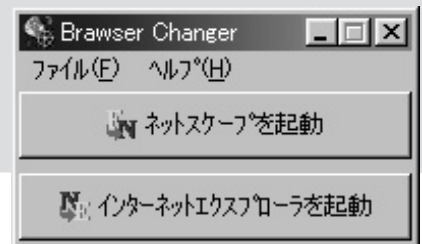
OS : ウィンドウズ95、NT4.0
種別 : フリーソフトウェア
作者 : Bang-Doll氏
関連ページ : <http://www.fureai.or.jp/~yoichi37/soft/brawchg.html>

Win

本誌で好評連載中の「HTML TIPS & TRICKS」を読んでいただければ分かるとおり、インターネットエクスプローラとネットスケープナビゲーターではHTMLの解釈が多少

違うため、どちらか片方のWWWブラウザでしか正しく表示されないといったホームページも結構多い。そのため、インターネットエクスプローラとネットスケープナビゲーターの両方をインストールして、ホームページによってWWWブラウザを使い分けるといった人も多いだろう。現在利用しているWWWブラウザでホームページが正しく表示できなかった場合、通常はそのURLをカットアンドペーストしてWWWブラウザを切り替えて表示させているはずだ。ブラウザーチェンジャーを使えばそんな手間をかけずにボタン1つでもう一方のWWWブラウザに切り替え、そのページを見られる。ホームページを作成するとき、どちらのWWWブラウザでも正しく表示できるかをチェックする場合などに便利だ。

ンジャーを使えばそんな手間をかけずにボタン1つでもう一方のWWWブラウザに切り替え、そのページを見られる。ホームページを作成するとき、どちらのWWWブラウザでも正しく表示できるかをチェックする場合などに便利だ。



HOTTEST
TOOLS

メモ帳(M) Ver.1.11



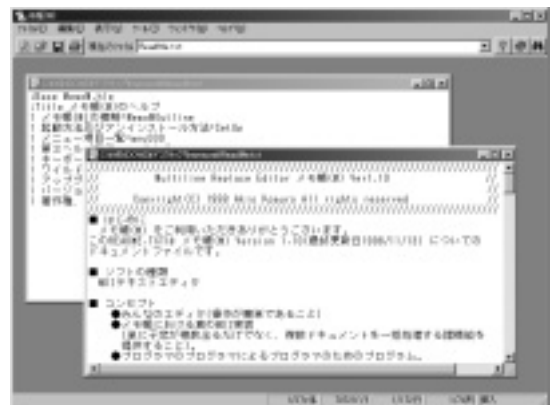
動作環境

OS : ウィンドウズ95/98、NT4.0
種別 : フリーソフトウェア
作者 : 小室暁生氏
CD-ROM収録先 : Win Memo
関連ページ : <http://www2.famille.ne.jp/~akio1998/>

Win

メモ帳(M)は、操作が簡単なウィンドウズ用のテキストエディターだ。インターフェイスにはメインウィンドウの中に複数のウィンドウを開くMDI (Multi Document Interface)を採用している。このテキストエディターの最大の特徴は、複数の行にわたった文字列を特

殊な記号などを使わずに置換できる点だ。もちろん、同時に開いている複数のドキュメントを一括して処理できる。そのほか、テキストエディターとしての基本機能もしっかりしており、無限アンドゥ、指定行へのジャンプ、自動字下げなどを備えている。フリーソフトウェアで機能が豊富なテキストエディターを探している人におすすめのソフトウェアだ。





Let's Try!



「便利なソフトがあるみたいだけど、使い方がよくわからない」とか、「英語版のソフトを使ってみたくて、英語が読めないからちょっと……」などと思っている人はいませんか？ このコーナーでは、そんなあなたのためにフリーソフトウェアやシェアウェアのインストール方法からソフトウェアの活用法までしっかり解説いたします。

今月の徹底解説ソフト

RealPlayer G2 正式版

ストリーミングコンテンツ再生ソフト「リアルプレイヤーG2」の正式版がついに登場しました。リアルプレイヤーG2では、今までのリアルプレイヤー5.0よりさらに高画質、高音質で動画再生が楽しめるようになりました。また、今回のバージョンよりリアルプレイヤー形式のファイルだけでなく、プラグインを使ってAVIファイルやVivoActive Playerのファイルなども再生できるようになりました。

Win

動作環境

OS : ウィンドウズ95/98、NT4.0

種別 : 無償配布

作者 : リアルネットワークス株式会社

CD-ROM収録先 : Win Rpg2

関連ページ : <http://www.jp.real.com/>

リアルプレイヤーG2をインストールしよう

1

リアルプレイヤーG2はインターネットナビゲーターCDに収録されています。「Feb99_a」「Win」「Rpg2」の順にフォルダーを開いて、フォルダーの中にある「r32_g20.exe」をダブルクリックします。



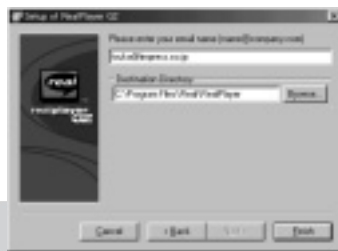
2

リアルプレイヤーG2のセットアッププログラムが起動し、使用許諾契約の画面が表示されます。特に問題がなければ「Accept」をクリックします。



3

上の欄にメールアドレスを入力します。下の欄にはインストール先が表示されます。インストール先がそのままであれば「Finish」をクリックします。インストール先を変更したい場合は「Browse」をクリックしてインストール先を指定します。以上でインストールは完了です。



4

しばらくすると、リアルプレイヤーの設定画面が表示されます。「E-mail address」の欄には入力したメールアドレスが入力されているはず。 「Country」の欄は「Japan」を選択し、「Next」をクリックします。



5



インターネットへの接続速度を設定する画面が表示されます。利用しているモデムやTAの通信速度を選択し、「Next」をクリックします。

6

リアルプレイヤーG2のウィンドウに追加したいチャンネルを選択します。特に追加したいチャンネルがなければ「Finish」をクリックします。以上で設定は完了です。





リアルプレイヤーG2 を使ってみよう

インストールが完了したら、早速リアルプレイヤーG2を使ってみましょう。まずは基本的な操作方法をマスターしましょう。

再生、一時停止、停止ボタン

左から再生、一時停止、停止ボタンです。停止ボタンの右のスケールで再生中のビデオやオーディオを巻き戻したり早送りしたりできます。



チャンネル表示、非表示ボタン

メインウィンドウ左側のチャンネルウィンドウの表示の設定です。クリックするたびに表示、非表示が切り替わります。

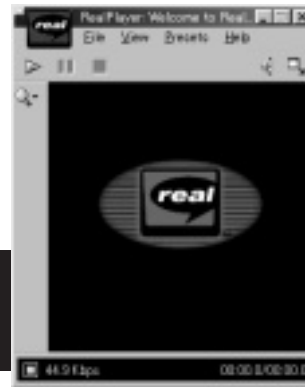
ストリーム速度

現在再生中のビデオやオーディオのストリーミング速度を表示します。



コンパクトモード

このボタンをクリックすると再生ボタンやボリュームボタンなど、必要最小限のボタンだけが表示されるコンパクトモードに切り替わります。もう一度クリックすると元のサイズに戻ります。



リアルプレイヤーG2 メイン画面



ズームレベル

標準サイズの画面では小さい場合、このアイコンをクリックして2倍表示や全画面表示を選択することができます。ただし、全画面表示はビデオカードのドライバーが全画面表示をサポートしている必要があります。



リアルプレイヤーG2表示

リアルプレイヤーG2専用のコンテンツを再生しているときにG2マークが表示されます。

ボリュームコントロール

音量をコントロールします。ボリュームコントロールの下にあるスピーカーボタンをクリックするとミュート（消音）します。

オーディオ、ビデオサーチ

リアルプレイヤーG2では、新機能としてオーディオ、ビデオサーチが搭載されました。これは、Excite社との提携によるもので、このフォーム内に再生したいビデオやオーディオのキーワードを入力し、「Search」ボタンを押すと、WWWブラウザが起動し、検索した結果が表示されます。検索結果をクリックするとビデオやオーディオが再生されます。左の画面では、「golf news」と入力して検索した結果を表示しています。



リアルプレイヤーG2を カスタマイズしよう

リアルプレイヤーG2はメイン画面の右半分がビデオウィンドウ、左半分がチャンネルウィンドウという画面構成になりました。ここでは、見たい番組にすぐアクセスできるチャンネルウィンドウのカスタマイズ方法と、リアルプレイヤーG2を快適に利用するための各種の設定方法を解説します。

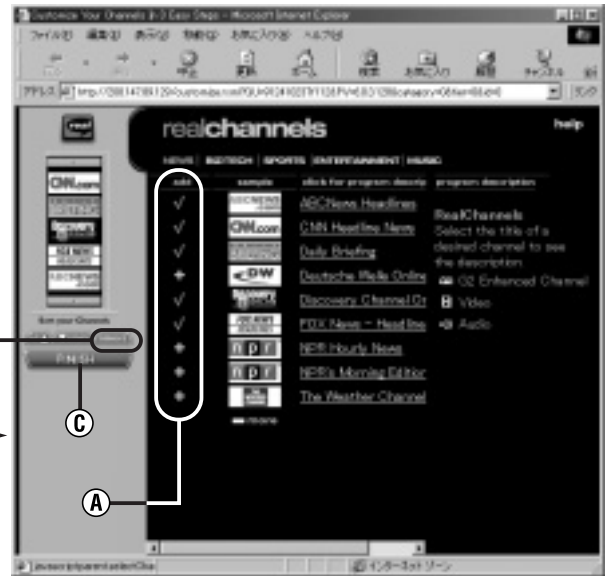
チャンネルのカスタマイズ

リアルプレイヤーG2のチャンネルのカスタマイズはWWWブラウザを利用して設定します。

チャンネルをカスタマイズするには、チャンネルウィンドウ内を右クリックしてメニューを表示させ、「Customize Channels」を選択します。すると、WWWブラウザが起動し、チャンネルをカスタマイズするためのウェブサイトが表示されます。

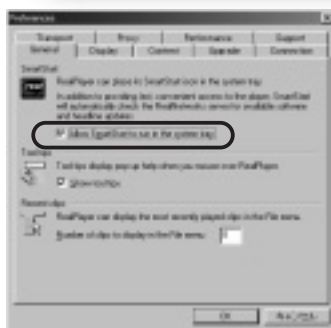


WWWブラウザの右フレームには登録できるチャンネルの一覧が表示されます。現在リアルプレイヤーG2に登録されているチャンネルには、①のadd欄にチェックマークが付いており、追加できるチャンネルにはプラスマークが付いています。チャンネルを追加するにはadd欄のプラスマークをクリックします。登録しているチャンネルを削除するには左フレームからチャンネルを選択し、②の「REMOVE」ボタンをクリックします。チャンネルの追加や削除を行った後、③の「FINISH」ボタンをクリックするとチャンネルの設定がリアルプレイヤーG2のチャンネルウィンドウに反映されます。



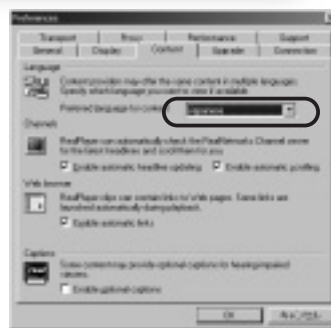
各種設定のカスタマイズ

メニューバーの「Options」から「Preferences」を選択すると、各種の設定を行うウィンドウが表示されます。



General タブ

リアルプレイヤーG2は標準状態ではタスクトレイに常駐する設定になっています。タスクトレイに常駐しているとリアルプレイヤーG2の起動が早くなりますが、メモリーを消費します。特に常駐する必要がない場合はSmartStartのチェックをはずしておきましょう。



Content タブ

再生するコンテンツの中には1つの言語だけでなく、多言語で記録されているものもあります。そのようなコンテンツを再生する場合に、どの言語で再生するかをLanguageの項目で設定できます。日本語を選択する場合は、「Japanese」に設定しておきましょう。



Performance タブ

リアルプレイヤーG2では以前のバージョンよりさらに高画質、高音質となりましたが、それとともなって、再生するためにはハイスpek的なマシンが必要になりました。ビデオを再生する際にコマ落ちが発生する場合は、Playback performanceのスライダーを左側にずらしましょう。



リアルプレイヤーG2の さまざまな機能を使ってみよう

リアルプレイヤーG2では、WWWブラウザのブックマークのようによくアクセスするコンテンツを登録したり、簡単に最新版にアップグレードしたりできます。ここではそれらの便利な機能を紹介します。

リアルプレイヤーG2のアップグレード



リアルプレイヤーG2はツールバーの「Help」から「Check for Upgrade」を選択することで常に最新版をインストールすることができます。インターネットに接続した状態で「Check for Upgrade」を選択すると、リアルネットワークス社のサーバーに接続し、現在利用しているプレイヤーより新しいバージョンがある場合、自動的にダウンロードが始まり、最新版のインストールが始まります。

コンテンツをプリセットに登録する

チャンネルにないコンテンツを登録するにはプリセットを利用しましょう。これは、WWWブラウザのブックマークと同じような操作で設定が可能です。現在再生中のコンテンツを登録するには、ツールバーの「Preset」メニューから「Add to Presets」を選択します。すると上のような画面が表示されますので、Title欄にコンテンツのタイトルを入力して、Folder欄のメニューからこのコンテンツに合ったフォルダーを選択し、「OK」ボタンをクリックします。これで次回からはPresetメニューからすぐに見たいコンテンツにアクセスできます。



RealPlayer Plus G2を 使ってみよう

リアルプレイヤーG2には無償配布版のほか、高機能版のリアルプレイヤープラスG2も販売されています。リアルプレイヤープラスG2はリアルネットワークス社のホームページ (<http://realstore.jp.real.com/>) から購入できます。

ビデオコントロール

ビデオコントロールのボタンをクリックすると輝度や明るさ、色合いなどを調節するウィンドウが開きます。この機能を利用すれば、ディスプレイの設定を変更することなくリアルプレイヤーG2のウィンドウ内でのみカラー調節ができます。



ファイル保存

リアルプレイヤーG2ではファイルをハードディスクに保存して、あとで再生できる機能が付いています。ただし、この機能が使えるのはコンテンツ配信側が保存できる形式で配信しているときのみです。

グラフィックイコライザー

映画やロック、クラシックなど再生するコンテンツに合わせた最適なイコライザーがプリセットされているので、迫力のあるサウンドが楽しめます。



オーディオアナライザーウィンドウ

オーディオアナライザーが表示されます。アナライザーパターンは4種類あり、アナライザーウィンドウの右にあるボタンをクリックすることでパターンを変更できます。



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp